

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年02月01日

計画の名称	函南町公共下水道総合地震対策・長寿命化事業（第3期）（防災・安全）														
計画の期間	令和04年度～令和06年度（3年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	函南町														
計画の目標	函南町公共下水道総合地震対策計画にて重要な管渠に位置付けられている緊急輸送路に埋設される管路及び防災拠点と処理場を結ぶ管路等、雨水ポンプ場の耐震化及び減災対策を実施する。 また、ストックマネジメント計画を策定し、管きょおよびポンプ場の計画的な調査・点検の実施や改築・更新を進めていくことにより長寿命化を図り、安全・安心な生活環境を整備する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		448	A	448	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4	R5	R6
1	函南町公共下水道総合地震対策計画に基づき管渠の耐震化及び減災対策を実施する。			
	函南町公共下水道総合地震対策計画に基づき管渠の耐震化及び減災対策を実施する。 地震対策済み延長（m）／地震対策計画延長（m）	96%	96%	98%
2	函南町ストックマネジメント計画策定率を0％から70％に増加させる。			
	函南町ストックマネジメント計画策定率を0％から70％に増加させる。 ストックマネジメント計画策定済み計画数／ストックマネジメント計画を策定すべき計画数	0%	50%	70%
3	雨水ポンプ場の耐震化および減災対策、長寿命化対策方針の検討を検討し、減災化および長寿命化実施率を0％から50％に増加させる。			
	雨水ポンプ場の耐震化および減災対策、長寿命化対策方針の検討を実施し、実施率を0％から50％に増加させる。 減災対策および長寿命化対策済みの施設数／減災化および長寿命化対策を実施すべき施設数	0%	20%	60%
4	内水浸水想定区域図を作成する。			
	内水浸水想定区域図作成率を0％から100％に増加させる。 内水浸水想定区域図作成済み面積（ha）／内水浸水想定区域図を作成すべき面積（ha）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	函南町	直接	函南町	管渠（ 汚水）	改築	重要な管路の耐震化事業	耐震化 L=0.140 k m	函南町	■	■	■			100		-
	A07-002	下水道	一般	函南町	直接	函南町	管渠（ 汚水）	改築	函南町ストックマネジメ ント計画策定	ストックマネジメント計画の 策定	函南町		■	■			252		-
	A07-003	下水道	一般	函南町	直接	函南町	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ場の耐震化事 業	雨水ポンプ場の耐震化	函南町		■	■			76		-
	A07-004	下水道	一般	函南町	直接	函南町	管渠（ 雨水）	-	内水浸水想定区域図作成	内水浸水想定区域図作成	函南町			■			20		-
											小計						448		
										合計						448			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	3	12			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	3	12			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	3	0			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	12			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	100			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					